

師 走 に 思 う

師走となりました。今日は、二十四節気の大雪。正に、山々が雪で覆われ本格的な冬の到来の頃となりました。2022年も残すところ24日。早いものです。

子どもの頃 (いや、今もそうです)、師走になると、なんだかウキウキしたものです。クリスマスと大晦日・お正月が、日に日に迫って来るからです。わたしの子どもの頃とちがって、今は、12月前からテレビでクリスマスソングをBGMにクリスマスケーキのCMが流れたり、町がイルミネーションで飾られたり、賑わいの様子がニュースで取り上げられたりします (子ども時代には、イルミネーションという存在自体なかったように思います)。そんな世間の動きに、否応なく心がウキウキするのです。

「ウキウキ」とは、うまいこと様子を表した言葉です。漢字で書くと「浮き浮き」。心も体もふわふわと浮き足立つのです。だから、けがや事故も多くなりそうです。

1年の締めくくり。そのようなことがなく、子どもたち全員がにこにこ笑顔でお歳取りを迎えられるといいなあ。そんな子どもたちを思いながら「除夜の鐘」を聞きたいなあ。

そんなことを思う、わたしなのです。

